

科目名 Course Name	社会的養護 I Social Care I			ナンバリング No.	K2-003		
年次	1 年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	加藤 茉奈美						
連絡方法	C-Leaning で対応。または加藤研究室。						
必修/選択	選択(保育士必修)						
関連 DP	DP4,DP5						
授業の概要と到達目標	保育士の活躍する場は保育園だけではなく対象も乳幼児だけではないこと、人権尊重・発達保障の理念の下、安定した生活を提供するための社会的養護に関する国の努力と現在の課題を説明できるようにする。						
授業の方法	社会経験が少ない学生にとっては言語的説明だけではイメージしにくいと思われるので、映像資料をできるだけ用意する。また、スマートフォンによる調べ学習も入れる。説明と調べ・映像、毎回授業の最後に小テスト(穴埋め問題)で知識の定着を図る。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	社会的養護における根本的理念である、人権擁護・発達保障・ノーマライゼーションのもとに、社会的養護が展開されている事、それら機能について自分の言葉で説明できる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	毎時間実施する小テストの記入内容を確認し、習熟度を見定めて助言を行う。						
教科書/参考図書	毎時間、資料を提供する。						
履修上の留意点やルール等	私語・居眠り・授業に関係のないことは行なわないこと。毎時間、資料を用意します。事前・事後学習時間の目安は各回 180 分相当とします。						
担当教員の実務経験	実務経験(職種:障がい者支援施設 生活支援員 職歴 13 年) 施設での多様な経験を活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度					
レポート/作品					
発表					
小テスト	知識の定着を図る穴埋め問題を出しますので、講義内容をよく聞くこと。 5×15 回=75 点。			75	
試験	小テストより問題を作成します。小テストで間違ったところは、毎回訂正しておいてください。			25	
その他					
合 計				100	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業のねらいと進め方、評価の方法)、保育と社会的養護、小テスト
	事前・事後学習	社会的養護の意味を調べる・資料の再確認
2	授業内容	児童家庭福祉と社会的養護、小テスト
	事前・事後学習	児童家庭福祉の意味を調べる・資料の再確認
3	授業内容	社会的養護のあゆみと子どもの権利、小テスト
	事前・事後学習	ノーマライゼーション・「この子らを世の光に」の意味を考える・資料の再確認
4	授業内容	子どもの権利条約と児童福祉法・諸法令、小テスト
	事前・事後学習	「子どもの最善の利益」の意味を考える・資料の再確認
5	授業内容	社会的養護の実施体制、小テスト
	事前・事後学習	社会的養護における「家庭と同様な環境」について調べる・資料の再確認
6	授業内容	施設・事業所の運営管理
	事前・事後学習	「措置」と「選択」について調べる・資料の再確認
7	授業内容	社会的養護に関わる専門職
	事前・事後学習	名称独占資格とは何か調べる・資料の再確認
8	授業内容	里親の意義と種類について
	事前・事後学習	里親の種類について調べる・資料の再確認
9	授業内容	母子生活支援施設・児童心理治療施設・児童自立支援施設
	事前・事後学習	上記3施設の概要について調べる・資料の再確認
10	授業内容	乳児院・助産施設
	事前・事後学習	乳児院の概要について調べる・資料の再確認
11	授業内容	児童養護施設・自立援助ホーム
	事前・事後学習	上記2施設の概要について調べる・資料の再確認
12	授業内容	福祉型障害児入所施設
	事前・事後学習	福祉型障害児入所施設激減の理由を考える・資料の再確認
13	授業内容	医療型障害児入所施設・児童発達支援・放課後等デイサービス
	事前・事後学習	上記3施設事業について調べる・資料の再確認
14	授業内容	障害者支援施設・生活介護・就労継続支援
	事前・事後学習	上記3施設事業について調べる・資料の再確認
15	授業内容	権利擁護と苦情解決の仕組み
	事前・事後学習	こども会議・利用者自治会について調べる